

# 簡易プロトタイピングによるユーザインタフェース設計

## 検討会説明用資料 3班

202211879 新井 皓陽

202212115 近 和

202210779 山田 悠真

### 1. 対象システムの選定

空き教室確認システム(新規作成を想定)

### 2. 解決を目指す問題の決定

- 学内マップで教室の利用状況の把握ができない
- 学内マップ等の現存するマップでは教室の設備状況の把握が困難

### 3. 評価するHIの素案の決定

- 表示形式
  - 基本的にマップ形式
    - 階層構造で移動
  - 検索時にリスト形式
    - マップに遷移も可能
  - 教室の利用状況を表形式
- マップの機能
  - 現在地の表示
  - 設備アイコン
  - 空いている教室を色付け
  - 教室の利用予定表を表示
- 検索の機能
  - 条件付き検索も可能
    - 日時指定
    - 設備指定
    - 人数指定
    - エリア指定
  - 教室名検索
  - 教室の利用予定表を表示



### iii. 検索窓を用いる課題

-> 6A202 ビジュアルデザイン室の利用予定表を確認

## 5. 取得データと取得方法の決定

### i. 操作回数

- タップ数
- マップ遷移回数

### ii. 時間

### iii. アンケート

- 利用しての感想
- アイコンはわかりやすかったか
- 面倒に感じた部分
- 

## 6. データの解析方法の決定

- KLMモデルで計算する
- フィッシュボーン図で問題があった部分を掘り下げる

# フィッシュボーン図

10

□ 曖昧な問題を、問題と原因、対策にブレイクダウンし、俯瞰するためのツール

□ 複雑な問題を見える化して複数の解決アプローチを探る

